

2011-12年度 テクニカル・コーディネーター

委員長と副委員長

Michael Webb (英国)

Francis Tusubira (ウガンダ)

「基本的教育と識字率の向上」

Sylvia Byers (オーストラリア)

Madhumita Bishnu (インド)

John Thorne (オーストラリア)

「母子の健康」

Keith Barnard-Jones (英国)

Patricia Canning (オーストラリア)

Stanley D. Fike (カナダ)

「疾病予防と治療」

Manoj Desai (インド)

Jos Nolle (カナダ)

Josephine Min-Ling Wong (台湾)

「経済と地域社会の発展」

Elio Cerini (イタリア)

Amégnizi Maurice N. Eodorh (トーゴ)

Cecilia Reyes (フィリピン)

「平和と紛争予防／紛争解決」

Michael Barrington (米国)

Caleb E. Lucien (米国)

Joel M. Nagel (米国)

「水と衛生設備」

Camilo A. Calvo (米国)

Kurt Bay (スイス)

Brian E. Foley (オーストラリア)

Message from the Chair

Michael Webb

今回、ロータリー財団専門家グループの委員長を務めさせていただき、誠に名誉に感じております。

専門家グループは先ごろ、本ロータリー年度2回目の任命を行い、グループの新メンバー、数人にも現地視察をお願いすることとなりました。この方々は、ガーナ・アクラでの研修セミナーに参加された際、RI資金管理部と専門家グループの協力活動について知り、登録された方々です。

当グループでは現在、以下の専門家を特に求めています。

- 日本語、韓国語、イタリア語、またはポルトガル語に堪能な監査専門家
- 北米あるいは中米在住で、スペイン語に堪能な監査専門家
- 保健および水・衛生の専門家
- アフリカ在住で、あらゆる分野の専門家

派遣する専門家を決める際、任命をできる限りグループの全専門家に分散する以外に、どのような基準を用いているのかと、聞かれることがあります。第一に、各専門家の専門分野と言語能力を、プロジェクトとマッチさせます。次に、専門家が、研修セミナーに参加したかどうか、過去に行った現地視察で提出された評価と報告が充実したもの

だったかどうかを考慮します。対象プロジェクトの数は限られており、それぞれ独自の条件がありますので、各専門家のスキルや専門分野に合ったプロジェクトが見つかるまで、時として日数がかかることをご理解ください。

世界中のロータリアンによる寄付や募金の賜物である財団資金が、意図された受益者のためになるよう、賢明な活用を見届ける上で、専門家の貢献は欠かせないものです。

来る5月4日(金)、バンコクでの研修セミナーでは、たくさんのご参加をお待ちしております。

皆さま、ほかの方々にもロータリー財団専門家の役割の重要性と現在のニーズを伝えていただき、財団職員のクリスチャン・ペペラさんに連絡の上、専門家グループの新たな一員となっていただくようお願いください。

よろしく願いいたします。

Mike Webb (マイク・ウェブ)



アンゴラで農業支援を提供するプロジェクトを評価したカルロス・エスケロさん

素晴らしい現地視察の体験

専門家によるモニタリング：超私の奉仕の機会

寄稿：ジェームズ J. ヤーマス



パスト・ガバナー、ジェームズ・ヤーマスさんが視察したプロジェクトにより提供された、きれいな飲み水を飲む、西アフリカの人々

留意点：本報告では、情報保護の観点から、プロジェクト実施地名や提唱組織名などに、仮名が使用されていますのでご了承ください。

先ごろ私は、アフリカ西部のある国での任務を完了いたしました。そこでは、ロータリーのプロジェクトによって、水と衛生、さらには保健と衛生知識が向上し、それまで生活に必要な基本的設備のなかった地域で、何万人もの人々の生活が改善されました。

私が以前、中南米で評価したプロジェクトでもそうだったように、受益者は、他の国々から訪れたロータリアンの専門家が、プロジェクト実施国で地域社会を向上させるため尽くす人々であると考えています。プロジェクトの直接の恩恵をもたらすのが、国際ロータリーであろうと、国際開発機関であろうと、自国のロータリー・クラブであろうと、

RIに対する感謝の気持ちは、受益者の笑顔を見れば明らかです。

最近携わった任務では、建設工事のスケジュールから、費用、品質管理、仕様への適合性に至るまで、現場で視察しました。このプロジェクトでは、遠隔水源地から水がポンプによって送られ、飲料水の水質基準に見合うまで浄水された後、各地にある手押しポンプ付きの井戸に送水されます。また、数箇所に水洗式トイレとシャワーが設置されました。それが可能でない地域では、近代的な汲み取り式トイレを設置することにより、プロジェクト前まで問題となっていた、汚染、雑菌混入、その他の衛生上の問題が解決されました。

国際ロータリーは、アジア、中南米、アフリカ、そのほかの地域でも、このようなプロジェクトに関与しています。今回、私が視察したプロジェクトで掲げられた目標は、1905年にポール・ハリスが仲間たちを行動へと喚起して以来、世界中のロータリアンが実行してきたことの典型でもあります。ロータリーが、世界各地の僻村に住む人々に、近代的な保健と衛生、そして持続可能な社会発展を可能にし、自助の精神で生活を改善することを可能にしているのは、疑いのない事実なのです。

ジェームズ J. ヤーマス (James J. Yarmus) 博士 (米国、ニューヨーク州、Spring Valleyロータリー・クラブ) は、エンジニアで、第7210地区のパスト・ガバナーです。



エドワード・ムチイムさんが評価したプロジェクトでは、ナイジェリアの中学生に飲み水と衛生教育が提供されました。



保健、飢餓追放および人間性尊重 (3-H) 補助金プロジェクトによりインドで設置された井戸で、のどを潤すカルヤン・バネルジーRI会長。このプロジェクトはパスト・ガバナー、マーク・ドイルさんが視察しました。



ロータリーのプロジェクトにより、飲み水と衛生教育を受けたフィリピンの子供たち。チャレルムチャト・チュンインさんがプロジェクト評価に当たりました。

専門家グループ研修セミナー



財団補助金資金管理の重要性を語る、ウィルフレッド・ウィルキンソン管理委員長エレクト



研修セミナーの分科会で、事例研究をする参加者たち



アクラで開催された研修セミナーは、過去最高の参加者数を記録しました。

新専門家勧誘を主眼とした専門家研修セミナーが、8月にガーナのアクラで行われ、大きな成功を収めました。アフリカ西部における専門家グループのニーズに応えるために開かれたこのセミナーには、ガーナ周辺からだけでなく、南アフリカ、ウガンダ、さらに米国からも、80人のロータリアンが参加しました。

参加者がこのニーズの深刻さについて伝えてくださったおかげで、11月18日現在、18人の新たな専門家が登録しました。アフリカで行われる多数のプロジェクトと、それに対応できる専門家の不足とのギャップを解消する上で、新たな専門家の参加は大きな助けとなります。アフリカ在住の専門家が増えることで、往々にして経済的な負担となる旅費を軽減することができ、特に、フランス語に堪能なアドバイザーが新たに加わったことで、フランス語圏プロジェクトのニーズに対応できるようになりました。新専門家の中には、すでにプロジェクト実施地での任務を任された方もいらっしゃいます。

セミナーに参加し、成功に導いてくださった方々に、心よりお礼を申し上げます。

セミナーでの主な出来事は、以下の通りです。

- 元RI会長および次期財団管理委員長、ウィルフレッド・ウィルキンソンさんには、資金管理の重要性についてお話していただきました。同日に予定されていたガーナの大統領との会見を取りやめて、参加していただいたことに深く感謝いたします。
- 財団副管理委員長および未来の夢委員、サミュエル・オクズェトさんからは、母国ガーナで、未来の夢計画についてためになるお話を伺いました。
- セミナーでモデレーターを務めた、フランシス・ツス・ツスビラ専門家グループ副委員長は、専門家グループが抱えるニーズと、プロジェクト現地視察中に行うべき事柄のトップ10をご紹介します。
- 特に経験豊かな専門家3人には、プロジェクト現地での活動におけるベストプラクティスをご紹介します。参加者からのたくさんの質問も受けていただきました。

今回の研修セミナーは、5月4日(金)にタイのバンコクで開催されます。皆さま、奮ってご参加ください。

奮ってご参加ください

5月4日(金)

今回の専門家グループ研修セミナーは、5月4日(金)、タイ・バンコクにあるImpact Center(インパクト・センター)で開催されます。このセミナーは、財団の全専門家はもちろん、同会場で開催される2012年RI国際大会に参加するすべてのロータリアンを対象としています。専門家グループの一員となることにご興味のある方、ロータリー財団補助金資金の適切な管理についてもっと知りたい方は、研修セミナーに終日参加することをお勧めいたします。詳細は後日お伝えします。



低廉簡易住宅(低コスト・シェルター)プロジェクトの復活について

ロータリー財団管理委員会は、去る9月の会合において、未来の夢計画に現在参加していないクラブや地区が、マッチング・グラントによる資金を、低廉管理住宅プロジェクトに充てることを許可する決定を下しました。この結果、2011-12年度と2012-13年度、ロータリアンがこのようなプロジェクトを実行することが可能となりました。

低廉簡易住宅プロジェクトは、飲み水、衛生設備、社会インフラの完備を必要とするため、技術的に難易度

が高いものです。安全で、耐久性のある住宅を建設するには、さまざまな条件が伴うため、管理委員会は、このようなプロジェクトに義務付けられる指針を新たに設けました。この指針の作成に当たっては、建設および建築の専門家を対象として6月に行われたアンケート調査の結果が参考とされました。

低廉簡易住宅建設の指針の一部を、以下にご紹介します。

- 簡易住宅建設費用は、5,000米ドル以下でなければならない。
- 簡易住宅内に安全な水と衛生設備を確保できない場合は、簡易住宅から適切な距離に確保されなければならない。
- 1つの補助金で建設できる簡易住宅の最低数は5つとし、(ロータリー財団が全資金を提供して)1箇所建設できる簡易住宅の最高数は50とする。
- 簡易住宅の長期的持続可能性を確保するため、何らかのメンテナンス計画をプロジェクトに含めることが奨励される。この計画には、居住者個人に対する研修や、井戸、共同トイレ、屋根などの維持管理についてのグループ研修などが含まれる。

「マッチング・グラントにおける低廉簡易住宅建設に関する指針」の全文と、「低廉簡易住宅計画:申請書補遺」は、専門家グループのウェブサイト、または[RIのウェブサイト](#)をご参照ください。

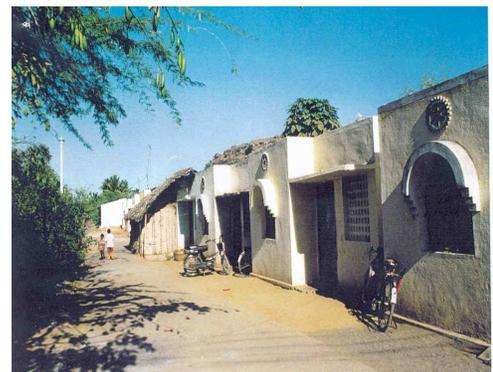
低廉簡易住宅建設プロジェクトについては、プロジェクト承認前の申請書評価を初めとして、専門家グループに評

価と監視の役割が委ねられます。専門家はさらに、簡易住宅の建設と利用が計画通りに進んでいることを見届けるため、プロジェクト進行中、および完了後の現地視察も受け持ちます。

簡易住宅建設プロジェクトの復活は、マッチング・グラント・プログラムにとって素晴らしい進展で、ロータリー財団専門家グループがスキルと専門知識を生かす新たな機会となります。財団専門家グループが、補助金による低廉簡易住宅プロジェクトにどのように関与していくか、ご質問がございましたら、財団職員のクリスチャン・ペペラまで、[Eメール](#)でお問い合わせください。



ホンジュラスで、マッチング・グラントによる支援で建てられた低廉簡易住宅



マッチング・グラントにより、インドで建設された簡易住宅

資金管理担当職員

金本美利

マネージャー

miri.kanemoto@rotary.org

デイビッド・プレーター

シニア・スーパーバイザー

david.plater@rotary.org

サラ・クリステンセン

地区支援スペシャリスト

sarah.christensen@rotary.org

クリスチャン・ペペラ

シニア・コーディネーター、専門家グループ

christian.pepera@rotary.org

タニア・デュボン

会計監査スペシャリスト

tannia.dubon@rotary.org

ラジャシュ・アナン

会計監査シニア・コーディネーター
南アジア事務局、インド

rajesh.anand@rotary.org